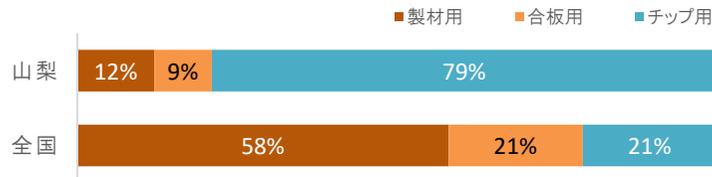


県産木材供給の現状と対応

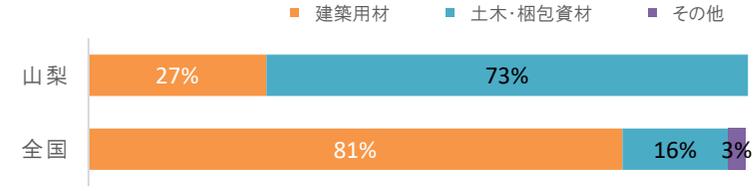
用途別木材生産割合 (H30)

用途別木材生産割合は、チップ用が全体の約8割を占める一方、製材用は約1割と、全国に比べ低く、付加価値の高い製材用を増やしていく必要がある。



県内工場の製材品出荷割合 (H30)

県内工場の製材品出荷割合は、土木・梱包資材が全体の約7割を占める一方、建築用材は約3割と、全国に比べ低く、より付加価値の高い建築用材を増やしていく必要がある。



(株)キーテック山梨工場



令和元年5月、国産材100%で合板製造を行う生産拠点として、山梨県身延町に県内初の大型合板工場が竣工し、関東甲信地域の原木約12万m3/年を消費します。
また、整備中の中部横断自動車道のICに隣接し、巨大消費地である関東圏や中京圏にもアクセスが良好となります。



南部町森林組合



平成27年に乾燥機を更新し、乾燥技術の向上により幅広い注文に対応しています。
また、令和3年には、JAS製材の機械等級を取得予定であり、品質・性能の確かな県産材の供給体制が強化されます。

東京都港区「みなとモデル」参加市町村登録事業体
国交省 地域型住宅ブランド化事業参加事業体

